

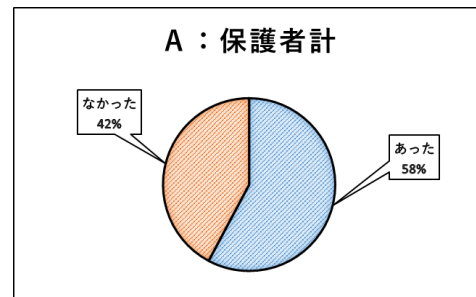
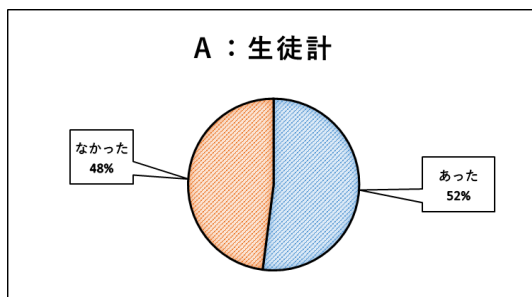
晨風（2025 冬号）別冊

きみの可能性は無限大

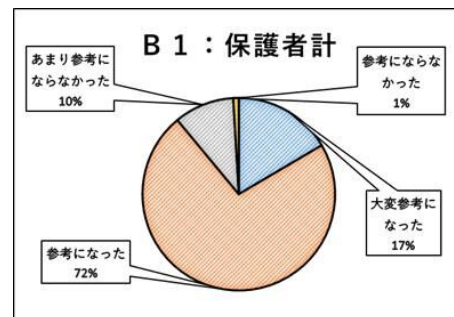
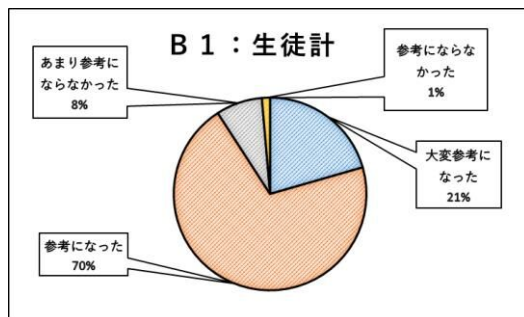
～保護者から子どもたちへのメッセージ～

【アンケート集約結果】

A：「きみの可能性は無限大」を読んで、家庭で進路や職業について話す機会がありましたか？



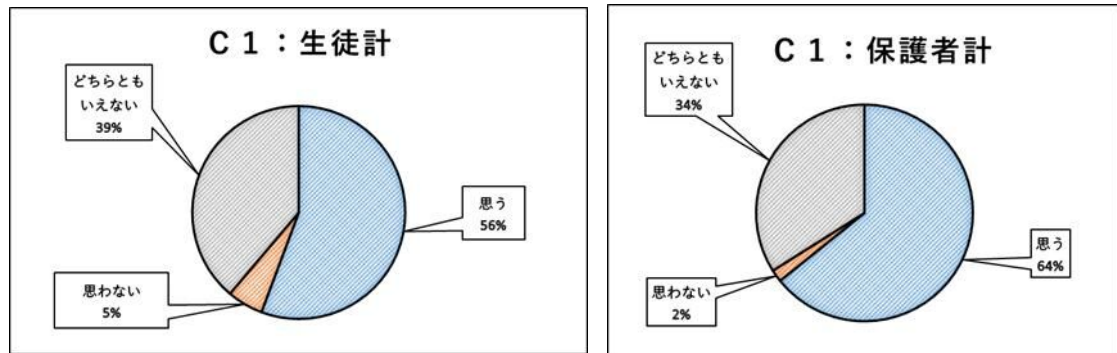
B 1：生徒が進路や職業を考えるうえで参考になりましたか？



B 2：B 1のうち、Aで「進路や職業について話す機会があった」家庭の場合

	生徒計	%	保護者計	%
大変参考になった	35	26%	14	22%
参考になった	91	67%	48	76%
あまり参考にならなかった	8	6%	1	2%
参考にならなかった	1	1%	0	0%
計	135		63	

C 1 : このような取り組みを続けていった方がよいと思いますか？



C 2 : C 1のうち、Aで「進路や職業について話す機会があった」家庭の場合

	生徒計	%	保護者計	%
思う	99	73%	48	76%
思わない	4	3%	1	2%
どちらともいえない	32	24%	14	22%
計	135		63	

進路や職業について話す機会が「あった」家庭に限定すると、「大変参考になった」は生徒 26%・保護者 22%になりました。また、そうした家庭では生徒の 73%・保護者の 76%が「この取り組みを続けた方がよい」と回答されています。

【読後コメント（♠：生徒）（♥：保護者）】

♠「将来何をしたいかがあやふやで困っていました。でも、この文章を読んで今は、やりたいこととか、好きなことを見つけようと思うし、勉強に全力で取り組んで視野を広げたいと思いました。」（1年生）

♠「自分の進路についてどの方向に行くのかまだ悩んでいるから「他の人の言うことを鵜呑みにしない」、「働く環境は与えられるものではなく自分で創っていくものではないか」という言葉が自分の決断を変える言葉になるのかなと思った。」（1年生）

♠「将来の夢があってもなくても、可能性はいくらでもあること、いい大学、志望校に入ることだけが一番ではなく、そこで何を学んで、どう将来に繋げるかが大事だと思った。」（1年生）

♠「どの文も背中を押してくれるような文ばかりで、人生の先輩としての経験談など参考になることが多かったし、今、自分が取り組んでいることにも全力でやっていけば結果はついてくると自信をもてました。」（1年生）



♠ 「将来の夢で迷うことが何回かあったけど、看護師として病院以外で働いている方の文章を読んで、すごくためになりました。私は看護師資格を取って、保育士も取りたいと思っていて、病院だけでなく他の場面でも働ける人に私もなりたいと強く思いました。」（1年生）



♠ 「様々な方々の意見を聞いて、進路に対する考え方が少し変わりました。大学や就職は、今、気になる事柄で決めていましたが、注目する点を絞ってみたり、経験から得た知識で考え直したりすると、自分が将来何になりたいのか、何に向いているのかを深く知ることができると思いました。また、過去の出来事から見つかるものもあると思うので、これからに活かせるように努力したいと感じました。」（1年生）

♠ 「自分が苦手だったことを乗り越えて仕事にできることに驚きました。こうした会話を家族ともっと増やしていきたいと思います。そして、自分自身が楽しく感じられる仕事に就きたいです。」（2年生）

♠ 「今をボーッと生きるのではなくて、自分が何になりたいのかを考えたり、様々な経験をしたりたい。これからもっと前を向いて頑張ろうと思えた。」（2年生）

♠ 「こんなにも真剣な大人の方たちの経験談などを聞くことはなかなか無いので、興味深かったです。」（2年生）

♠ 「色々な大学などを見て、色々な事に触れてみるのが大事なのだと思います。自分の夢は決まっていますが、大学によって学ぶことは少しずつ違うので、そこで私が本当に学びたいことが学べるのかをみて選ぶのが大事な鍵になるのかなと、今回、これを読んで感じました。」（2年生）

♠ 「自分の好きなことでなくても、周りができなくて自分にはできるようなことがあるなら、それを仕事にするのもいいのではという考えに納得した。」（2年生）



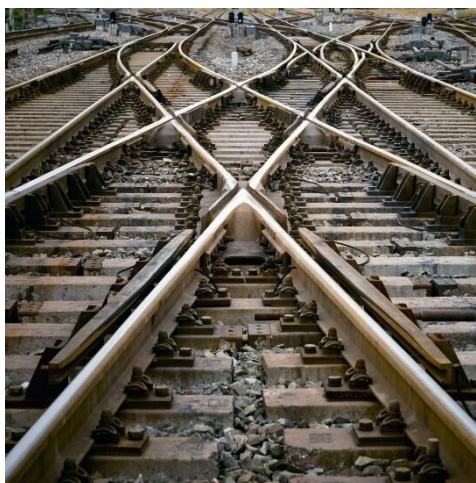
♠ 「進路への心配で焦っていましたが、少し心のゆとりができました。」（3年生）

♥ 「『きみの可能性は無限大』って本当にそうだと思います。高校生の子どもたちには、これから何にでもなれるし、何でもできるんだということをこの冊子を読んで気付いてほしいです。この想いが子どもたちに届くことを願っています。」（3年生保護者）

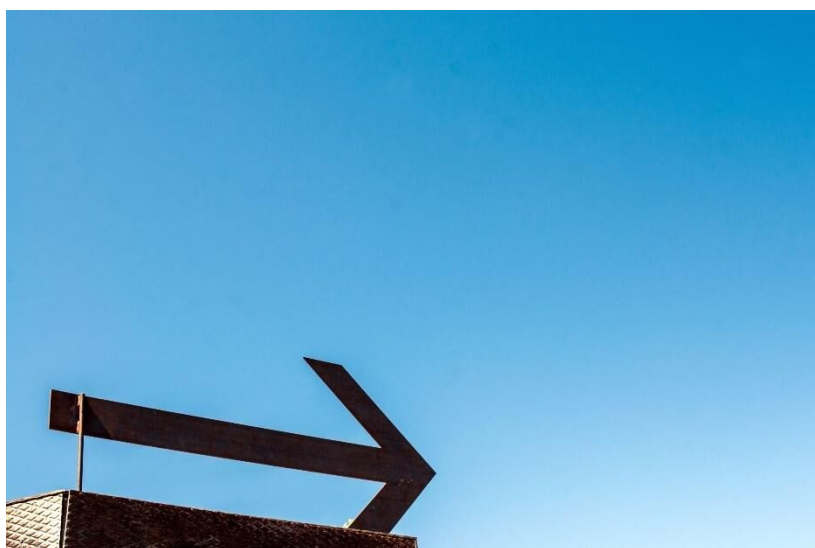
♥「親がどういう経緯で今の職業に就いているのかを話してきたことが無かったので、話をする良いきっかけとなりました。」（3年生保護者）

♥「自分の好きなことや、得手不得手を知ることは将来の進路選択に役立ちます。そうしたことを考えるきっかけとなる保護者の経験メッセージは、子どもたちにとって大きな参考になると思います。」（2年生保護者）

♥「どのお話も興味深く読ませていただきました。これからの進路や将来の職業について、子どもと一緒に考えていくためのヒントをたくさんいただきました。」（1年生保護者）



♥「どのメッセージも心に響くものでした。我が子は私たち親からだ、あまり聞く耳をもたないので、第三者の立場からの言葉などを子どもたちに直接聞いてもらえる機会があるといいと思います。」（1年生保護者）



『きみの可能性は無限大～保護者から子どもたちへのメッセージ～』への寄稿並びにアンケートへの回答に御協力くださり、感謝申し上げます。ありがとうございます。

この企画は、子どもたちの幸せを願う気持ちから始まりました。アンケートの結果を見ると、保護者としてのメッセージが、しっかりと子どもたちの心に届いたように感じます。そして、保護者もまた、子どもたちと進路・職業・将来についての話をするきっかけをつくることができました。

この成果を次年度以降につなげ、より多くの職業・進路の情報を提供できるよう、引き続き保護者の皆様の御協力をお願いいたします。